



～君は新年に何を誓う?～

約2週間の冬休みも終わり、いよいよ今日から3学期が始まります。3年生にとっては残り僅かとなった高校生活いかに過ごすかが問われます。進路決定者も多く出ている中で、これから本番を迎える受験生もいます。今月19日・20日の大学入試センター試験を皮切りに、大学・短大専門学校の入試や就職試験等が3月まで続いて行きます。受験生にとってこの時期は、体調管理をしっかりと行うことも大切です。現役生の力は本番ぎりぎりまで伸びて行きます。そのことをしっかりと肝に銘じて、最後の最後まで諦めずに根気強く取り組んで下さい。

そして、1・2年生にとっての3学期というのは、新学年を迎える為のゼロ学期という位置づけを個々人が自覚し、今学年で学習した内容をしっかりと見直し、新学年に備え計画立てて学習する習慣を身に付けましょう。苦手科目から逃げては駄目です。わからなければわかるまでとことんやり通す事です。先生方はやる気のある君たちをしっかりと支え応援してくれます。待っているはいつまでたっても解決しません。挑戦しなければ、成功する確率はゼロのままです。

『失敗すればやり直せばいい。やり直してダメならもう一度工夫し、もう一度やり直せばいい。失敗の多くは成功するまでに諦めてしまうところに原因がある。最後の最後まで諦めてはいけない。』(松下幸之助)

若い君達はいくらでもやり直しがききます。新しい年にしっかりと自分の大きな目標を掲げ、それに向かって邁進して行って下さい。必ずや道は開けます。 **Just do it!**



～時の言葉～

「始まるのを待ってはいけない。自分で何かやるからこそ何かが起こるのだ。」

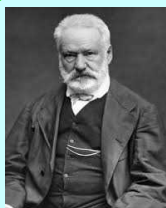


植村 直己 (うえむら なおみ) 1941～1984 (認定死亡)：兵庫県出身の世界を代表する登山家・冒険家。日本人で初めてEベリット山に登り、世界で初めて5大陸最高峰登頂('70)。犬ぞりで単独北極圏到達('78)。'84年2月米国アラスカ州マッキンリー登頂後消息不明となる。国民栄誉賞受賞('84)。

～English Maxim (名言)～

"There is nothing like a dream to create the future."

「夢、これ以外に将来を創り出すものはない。」



Victor Hugo (ヴィクトル・ユゴー)：1802～1885 19世紀フランスを代表する詩人・小説家・政治家。日本ではジャン・ヴァルジャンを主人公とした傑作長編『レ・ミゼラブル(ああ、無情)』で特に知られている。1959～65まで発行された57円紙幣に彼の肖像画が採用された。

◆ 今年の干支(えと) 「亥(い)」について



\*由来：「亥」は十二支の12番目にあたり「がい」とも読み「とぎす」の意味で、草木の生命力が種の中に閉じ込められた状態を表す。「亥」の季節は冬で、春の芽吹きまでじっと固い種の中でイネキ-を内に込めているイ-ツ-がある。後に覚え易くする為動物の「猪(いのしし)」が割り当てられたようだ。「亥」の年は翌年から始まる次の種の生長に備え「知識を増やす、精神を育てる」等内部の充実を心がけると良い年である。

十二支はかつて中国で農業を行う際に暦として使われていた農業用語で、それが江戸時代に日本に伝えられ、一般庶民にも分かりやすいように十二支に動物が当てはめられた。今年の干支の「亥」が身近な動物の「猪」になったのも理解できる。

\*亥年生れの特徴：正義感が強くそれに見合った勇気を持ち主。芯が強くやると決めたらやり遂げる人。

◆ 「睦月(むつき)」

旧暦で正月(1月)のこと。「睦月」という名前の由来には諸説あるが、1年の初めの月は、親族一同集まり仲睦まじくする月「睦び月(むびつき)」の意であるとする説が有力。他に、元になる月で「元月(もとつき)」が「むつき」に転じたとする説もある。

英語のJanuaryは、ローマ神話の出入口とドアの神「ヤヌス(Janus)」にちなんでおり、年の入り口にあたることから、「ヤヌスの月」となったようである。



◆ 高2の夏の小4バ-ルの学力から慶大現役合格を勝ち取ったびりギャル「小林さやか」さんの一言

『勉強が嫌いなのは、できないから。小さなできるを大きな“やる気”に変えて行った!』